

納入事例

株式会社 NHK メディアテクノロジー 様

最新の中継音声支援車に STUDER “VISTA 5 SR” を採用

HIBINO

hibino Group



中継音声支援車「S-1」内の VISTA 5 SR

■ 放送番組に最先端の制作技術を提供

株式会社 NHK メディアテクノロジー様は、放送番組の制作に関わる技術業務や研究開発を行う NHK グループの技術を担う中核企業。放送と通信の連携によるサービスの多様化が進んでいるなか、最先端の放送技術力と確かな情報システム技術力を発揮している。映像・音声・照明機器をはじめ、スタジオや編集室をあわせ持ち、中継音声支援車も 4 台製作している。最新の中継音声支援車「S-1」に STUDER の“VISTA 5 SR”が採用された。

■ 3D 番組やスポーツ・中継番組のコアとなる音声支援車

中継音声支援車とは、音声制作スペースと制作支援用スペースを持つ移動可能車両のことで、主にスポーツ中継や生放送中継番組で使用される。「S-1」製作にあたっては、スポーツ中継番組以外でも運用する可能性を考慮し、3D 番組の制作にも対応できる拡張性の高い機材が必要になった。選定のポイントとし



中継音声支援車 (S-1)

て、第一に生放送に対応したオールリダントのデジタルコンソールであること、第二にコストパフォーマンスが高いこと、そして車中の限られたスペースの中でもオペレートしやすいこと、の3点があげられた。この条件をクリアしたのが STUDER の“VISTA 5 SR”。スポーツ中継にはハイスpekだとの声もあるなかで採用に踏み切ったのは、「S-1」を 3D 番組やスポーツ・中継番組のコアとなる音声支援車にするためであったという。

使用した感想を、スポーツ・中継 TD の佐藤哲司さんにうかがった。「“VISTA 5”よりも傾斜のある“VISTA 5 SR”にしたことで液晶画面やエンコーダーにも手が届きやすく、視認性が良いためオペレートがしやすいです。また、コンソールのセットアップもグラフィックコントロール画面で見やすくわかりやすく感じました。」特に、STRIP SETUP で STRIP をドラッグ & ドロップできる点やサラウンドパン機能の VSP (ヴァーチャルサラウンドパンニング) を気に入っていただいている。

東京 JAZZ (FM) の生放送で運用した際は、物理的フェーダー 32 本という制限の中で多チャンネルを構築し、専用のステージボックスを使用して 12 時間もの長丁場をトラブルなく運用した。また、「S-1」を他社に貸し出して、東京ドームでの 5.1 サラウンド野球中継で使用した際にもコンソールに対する不満はほとんどなかったと好評をいただいている。

▼株式会社 NHK メディアテクノロジー

〒150-0047

東京都渋谷区神山町 4-14 第三共同ビル

<http://www.nhk-mt.co.jp/>

【運用開始時期】

2010 年 4 月

【主要な納入機材】

機材	デジタルミキシングコンソール
ブランド名	STUDER
製品名	VISTA 5 SR

●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3880